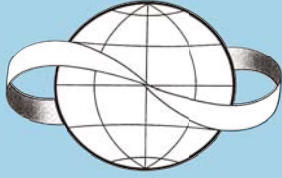


# ヴェーナス通信

Venous (静脈) Venus (護美の女神)



第72号

商標登録第 4882482 号

発行 東多摩再資源化事業協同組合  
理事長 吉浦高志 編集長 紺野琢生  
東京都東村山市久米川町 1 - 16 - 18  
TEL : 042 - 395 - 9788  
FAX : 042 - 395 - 9787

## 今こそ、地産地消、国内生産、国内リサイクルにシフトせよ

昨年来、我が国の資源リサイクル情勢は、中国事情に端を発する海外情勢に振り回されてきた。今年の三月頃からは、中国の輸入ライセンスが徐々に発給されたため、輸出は少しずつ回復したものの、二月まで抱えてしまった在庫と年度末の発生増により、問屋の処理能力は限界状態となり、これまで輸出に回っていたものまで国内製紙メーカーに流入した。メーカーは、荷止め、搬入枠の削減、価格の下方修正で対応したため、我々のような国内循環をメインにしている問屋にまで大きな影響があった。連休明けになり、輸出が動き始めたものの、ドレージ(コンテナの運送)の手配が付かず、成約しても荷物がなかなか出せない事態が続いた。

少し状況が良くなりつつあると感じ始めたのも束の間、今度は中国の国務院が六月末に提出した環境政策の方針の中で、二〇二〇年までに古紙を含む廃棄物の輸入をゼロにする方針を打ち出したとの一報が入った。これまでも中国政府は様々な手段を組み合わせて、古紙の輸入規制を実施してきたが、この方針を受けてさらに規制が強化されていく見通しだという。もし、この二〇

二〇年問題を中国が本気で実行した場合、国内の古紙の大半を引抜き起すのは、火を見るより明らかである。また、こちらは雑品スクラップの話になるが、タイ政府も六月に電子廃棄物の輸入禁止を打ち出した。こうした傾向が各国に、様々な再生可能な廃棄物に飛び火するところが懸念されている。先進国がアジア各国に低品質のMIX資源を送り込み、地元の環境悪化を黙認してきたが、このような時代は終息したとみるべきと思う。

とは言え、古紙業界としては、MIX古紙の行き場に一喜一憂しつつも、新聞、段ボールは一過性のもの、そのうち流通するのではないかと楽観視する向きもある。中国が国内の回収率を上げると言っても圧倒的に古紙は足らないはずだからだ。それは、中国が世界の工場として各国に製品等を輸出しているが、その際にパッケージや説明書などの形で、同時に大量の紙製品も輸出している。つまり、中国国内に還流している古紙だけでは、紙製品の生産が出来ないというわけだ。もちろん我が国も製品と共に大量の紙類を輸入させられているのだから、本来であれば、製紙原料という形で古紙を中国に戻してやらなければならない。しかし、輸出国が包装材な

ど全て引き取る義務もなく、中国から製品を買わずに経済を循環させることも不可能だ。となると、やはり国内で発生した廃棄物は、極力再資源化して国内で再利用する。さらに再生した製品の輸出力を強化するテコ入れが急務だと思う。そして、我々回収業界としても、高品質の再生資源物を、安定して供給できる事業が、益々重要になることを自覚しなければならぬ。

八月末より中国が、米国からの輸入品に二五%の関税をかけたため、再び日本の古紙の引き合いが強まっている。輸出を主に取引している問屋は、こうした乱高下する海外市況や需要を元に、売れる時は国内の取引市況を無視した高値を提示するが、要らなくなれば簡単に手を引いてしまう。そして、売れない時のしりぬぐいをするのは最終的に行政であり、地元業者である。

こうした結末が見えている以上、スポットの価格で流されるのではなく、国内製紙メーカーに安定的に供給を行っている地元業者を選び、育てて頂きたい。不透明な海外情勢に左右されることなく、国内での安定したリサイクルを確立するべく、市民や顧客、行政、再資源化事業者、製紙メーカーの一層の連携強化を望む。

リサイクル適性(A)

## 直言拝聴

### 「資源循環政策の国内外の動向」



3R 活動推進フォーラム 専任理事兼事務局長

公益財団法人 廃棄物・3R 研究財団調査部長 藤波 博 様

#### 持続可能な社会へ向けて

人類最大の課題として、地球温暖化、食糧需給の逼迫、天然資源の枯渇の三つがよく言われる。これらが顕在化する大きな要因としては、産業活動の活発化、人口の増加が挙げられよう。我々の分野である「循環」に関連する国連環境計画国際資源パネル(UNEP-IRP)報告書では、二〇五〇年に世界人口は九七億人に達し、世界の総物質採掘量は現在の二倍以上の一八三〇億トンに達すると予測している。環境問題は、地球規模から地域社会に及び人類の生存基盤を取り崩し社会経済の持続可能な発展に支障をきたす懸念があり、人類が自らの手で解決すべき最大の試練といえる。そしてわが国では、環境負荷の低減や環境に係る国際的協調等を規定した「環境基本法」や物質循環の適正化を図る「循環型社会形成推進基本法」で基本理念を設定し、目的達成の責務を明らかにしている。廃棄物を含む環境保全への責務が明確化され、汚染者負担の原則(PPP: Polluter Pays Principle)と拡大生産者責任(EPR: Extended Producer Responsibility)、分担責任(Shared Responsibility)が制度化され、事業者にとり大きな

責務が課されている。また、循環型社会と低炭素社会(Low Carbon Society)の統合的な取り組みの中で、物質循環政策の推進が強化され、消費者、事業者、行政に対して、発生抑制(Reduce)、再利用(Reuse)、再生利用(Recycle)の行動が強く求められている。平成三〇年四月一七日には、第五次環境基本計画が、平成三〇年六月一九日には、第四次循環型社会形成推進基本計画が閣議決定されている。

#### 資源確保を目指す国内外の動向

世界に目を向けてみよう。国連によると、新興国が目覚ましい経済発展を遂げるに従い、世界の資源利用量は増大していくとしているが、現在でも多くの資源が生産の限界に達しつつある。また、国連サミットで採択された持続可能な開発のためのアジェンダ二〇三〇では、持続可能な開発目標、SDGsで一七ゴール、一六九ターゲットを国際目標と定め、NO.一二の「持続可能な消費と生産パターンの確保」では、資源効率性、食品ロス削減、廃棄物の発生防止、削減、再生利用、及び再利用により、廃棄物の発生を大幅に削減する等目標が示されている。欧州で

は、これらを踏まえてCE(循環経済)パッケージが欧州委員会で採択され、二〇三〇年までに廃棄物の六五%をリサイクルする、容器包装廃棄物の七五%をリサイクルする、埋め立て廃棄物量を最大一〇%までに制限する、分別回収された廃棄物の埋め立て処分の禁止等が示されている。我々も世界の共通目標であるSDGsをうまく活用していくことが必要なのではないだろうか。一方、わが国では、循環型社会の形成に向けて、様々なリサイクル関連法を制定するなどして3Rを積極的に推進してきた結果、廃棄物量はピーク時の比較では一千万トンも削減することができた。しかし、市町村からは、収集コストが高い、各主体の分担の見直しなど処理システムに関する様々な問題が指摘されている。その一つに分別収集がある。細分化した区分ごとに収集ルートを設定し収集するシステムが一般的に実施され、結果として、収集コストやCO2排出量が多い等から効率性が極めて悪いと言われている。それでは「効率性」を高めるには、どのようにすれば良いのだろうか。一括収集と比較してみよう。分別収集では、容器包装を家庭から排出する時点で「びん」

「かん」「PETボトル」「プラスチック」「紙パック」「段ボール」「紙箱その他」など分別区分に従ってステーション等に排出し、個別に収集している。収集後は、異物除去のために、人手・機械による選別を行っており、量が増えてくると機械スピードをアップして対応するものの限界がある。この方式では、分別収集に要する車輛、人員も多く、市町村にとって相当地負担がかかっている。一方、一括収集では、びん、かん、プラスチック、PETボトル等リサイクル対象物をまとめて一括収集して機械選別する。これら一括収集してから選別を行う方式では、資源効率性が飛躍的に高まり、環境負荷が少ないメリットが出てくる。昨今では公共サービスといえども、コスト削減や効率性が強く求められ、収集コスト削減や分別の機械化は収集システム効率化の大きな課題となっている。資源のない日本、今日では私たちの身の回りにある製品等のすべてが輸入資源等から作られている。資源確保のためには、鉱石等のバージン原材料の確保に加えて、小型家電等都市鉱山からの資源確保が極めて重要である。加えて近赤外線等高度な機械選別技術も必要であり、効率

性の高いシステム導入のためのエンジニアリング技術も求められている。ここで米国と欧州の容器包装リサイクルについて見てみよう。米国では、カーブサイドコレクション方式で、住民が各家庭の前の道路脇（カーブサイド）にびん・かん・PETボトル等の飲料容器を一括して排出し、その後一括収集して、リサイクルプラントに持ち込み、機械により自動選別を行っている。欧州委員会では、二〇一五年一二月「CE（循環経済）パッケージ」を採択、容器包装廃棄物は、容器包装廃棄物の七五％をリサイクルするとして、容器包装類を一括収集、そしてX線・近赤外線等で選別、高度自動機械選別システムの導入が進められている。さらに、自治体廃棄物については、二〇三〇年までに加盟国各自治体の廃棄物の六五％をリサイクルする。埋立処分規制では、二〇三〇年までにすべての種類の埋立処分を最大一〇％までに制限する。分別収集された廃棄物の埋立処分を禁止するとしている。効率性を高めるため、分別しないソーティングマシンで分けるのが一般的で、この傾向は欧州全体に拡大している。資源として加工していくことで、このほうが資源

価値が高まり高値で売却できるのである。日本の場合は、市町村で中間処理をして手間もかかっているが、この時点では資源として売却できる物になってはいない。このあたりをどう考えていくのか、考えさせられることも多い。ちなみにわが国の一般廃棄物のリサイクル率は二〇％、EUでは六五％になっている。さらに、収集運搬の問題がある。収集運搬は、処理プロセスの中で、大変重要な位置を占めている。これまで都市の主要な問題の一つである収集運搬というこの重要な業務に対し、長い間科学的解析など十分な関心が払われてこなかった。最近になり、廃棄物処理事業費に占める収集運搬費用の増大や循環型社会・低炭素社会実現にむけたCO2削減の取組みの加速化、行財政改革等の経済的・社会的要因から、多くの自治体や関連企業が進んでごみ処理に注意を払うようになり、これらの改善が効率性を高めるテーマであるとの認識も高まってきている。そしてこの分野での進捗も見られるが、合理的で効率性の高い収集運搬システム構築のためには、収集運搬に係る分別区分等への見直しの検討も必要であり、そのためには、まず科学的なアプローチ

とデータにもとづいた解析がなされるべきである。今後においては、廃棄物か有価物かの基準、雑品スクラップ問題、中国の一部再生資源の輸入禁止問題、分別収集と一括収集の問題等多くの難題に対応していかななくてはならないとともに、ソフト技術・ハード技術の両面においてイノベーションが強く求められそうである。まさに日本の資源循環政策の今後のあり方が問われていると言えよう。

トイレットペーパー

「フューメラン」  
(65m巻き・100個入り)

1ケース3,200円(消費税・配達料込み)です。

※なお、配達には以下の地域に限定させていただきます。

小平市・東村山市・清瀬市・東久留米市・西東京市・東大和市

ご注文は当組合までお願いします。

TEL : 042-395-9788

FAX : 042-395-9787



**第二五回通常総会を開催**

去る五月二六日(土)、小平市の弥左衛門にて通常総会が開催されました。ご来賓として、地元の小平市長小林正則様、東京都中小企業団体中央会安藤直樹様のご臨席の元、全ての議案が満場一致を以て可決承認されました。なお、役員改選により、JP資源(株)東村山事業所の原口利和氏が退任となり、新たに遠地秀夫氏が理事に就任いたしました。

(柿崎)



吉浦理事長の挨拶

**【新理事挨拶】**

JP資源株式会社 遠地 秀夫  
二〇一五年よりJP資源で古紙事業に従事しておりますが、以前は日本紙パルプ商事で主に紙の販売に携わっておりました。当時はいかに紙の販売を伸ばすかということで、リサイクル紙は販売していてもリサイクルにまでは関心が及びませんでした。現業では、リサイクルシステムの上に製紙が成り立っているという事、そしてなにより、社会に大きく貢献し

ている仕事であるという事に誇りをもつて業務に当たっております。

今後は一企業としてだけでなく、組合が築き上げてこられたリサイクルシステムの維持、発展の一助たるべく努力いたす所存でございますので、何卒一層のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

〓 関連団体での総会が

開催されました

〇東京都資源回収事業協同組合

五月一九日に東京ガーデンパレスにて総会が開催されました。この度改選総会となりましたが、引き続き松本貞行氏が理事長を務めることになりました。これまで青年部長として本部推薦理事だった福田雄二氏がこの度東多摩支部長として支部推薦で理事に選任されました。また、本部推薦として東



松本理事長から感謝状を授与される小畑副理事長。お疲れ様でした

多摩支部長並びに鉄・非鉄部会長として長年理事を務めて本総会で退任することになった小畑和夫氏と、東多摩支部推薦として当組合理事を退任された原口利和氏に松本理事長から感謝状が授与されました。なお、当組合から新たに選任された理事、役員は以下の通り。

相談役 …… 紺野 武郎

理事・相談役 …… 吉浦 高志

監事 …… 小畑 和夫

理事・広報委員長 …… 紺野 琢生

理事・東多摩支部長 …… 雄二

・古紙対策部会長 …… 福田 雄二

福利厚生部会長 …… 吉浦 亜矢子

**【新支部長挨拶】**

東多摩支部長 福田 雄二  
この度、小畑前支部長の後任として六代目の東多摩支部長に就任しました。本部理事会の報告を正確に行い、また支部の代表として支部の課題や意見をしっかりと本部に上げて解決していくよう尽力して参ります。五十路手前ですがまだまだ若輩者ゆえ、ご指導ご鞭撻の程宜しくお願い申し上げます。

〇公益社団法人

東京都リサイクル事業協会

五月二八日に東資協本部会議室にて総会が開催されました。二月にお亡くなりになった菅澤和志副理事長に代わり、東京硝子原料問

屋協同組合より菅澤太二氏が理事に就任しました。なお、菅澤理事の株式会社豊島硝子は、当組合賛助会員でもあります。当組合からは吉浦高志氏が引き続き理事として出向しております。



総会後の懇親会で挨拶をする東リ協会理事長

〇日本再生资源事業

協同組合連合会

六月一六日に東資協本部にて総会が開催されました。関東ブロック担当副会長(関東資源回収組合連合会会長)、組織運営強化委員長を務めていた吉浦高志氏が退任し、新たに本部推薦理事として、日資連青年部長を退任した紺野琢生氏は、東資協からの推薦の理事としてそれぞれ再任されました。

当組合から新たに選任された理事、役員は以下の通りです。

相談役 …… 紺野 武郎

渉外担当理事 …… 吉浦 高志

理事・広報委員会

副委員長・業務委

員会回収部会長 …… 紺野 琢生



震災からの復興を願って！

日資連全国大会熊本大会

去る七月一四日、震災から二年経った熊本の地にて日資連の第四六回全国大会が開催されました。

今大会から新たに作成された連合会旗の入場で開会し、第一部式典が行われました。第二部パネルディスカッションでは、海外情勢が混んとしている『古紙』『雑品スクラップ』をテーマにした。パネルディスカッション、第三部記念講演会では、元広島カープの監督である古葉竹識氏のお話を伺いました。学びあり、九州の山海の幸あり、全国の皆様との交流もありの盛りだくさんな大会となりました。熊本の町は震災の爪痕をあまり感じませんでしたが、復旧工事中の熊本城はじめ震災の被害から立ち上がるうとする熊本の方々の気質を感じることが出来ました。私も引き続き応援していきたいと思

います。(福田)  
日資連 飯  
田会 長、西  
熊本 事 長  
原 理 事  
の 挨拶

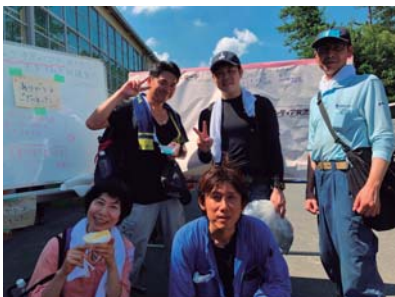


西日本豪雨災害の被災地

倉敷市真備町での支援活動

まずは、この度の西日本豪雨災害で被害に遭われた皆様に心よりお見舞い申し上げます。

去る七月二二日(日)、岡山県倉敷市真備町に復興支援のボランティアに日資連青年部として行ってまいりました。倉敷市災害ボランティアセンターには、日曜日ということで多くのボランティアの方々が全国から集まっていました。一緒に行った東資協仲條部長には、レンタカーのハイエースで送迎のボランティアに回って頂き、私と関資連竹井部長は他で来ていた三名の方と五人でチームを組み、個人宅での作業に向かいました。災害ボランティアセンターから被災エリアの真備町地区にあるサテラ



大阪、岡山、広島から参加された方と一緒にチームで活動しました。

イトセンターに向かう道中、小田川の橋を超えると景色が一変しました。二階部分まで水につかたとわかる住宅街は、道路も木々も黄土色になっていて、一部倒壊した家屋があったり、水につかた家財道具などが家の外に積まれました。幹線道路沿いや鉄道の高架下などにも被災瓦礫が積み上げられています。

私たちがお邪魔したお宅は、高齢者の一人住まいだったようですが、流れてきたタイヤに掴まって難を逃れたそうです。家財道具は運び出された後で、床下の泥の掻き出し作業をさせて頂きました。



この地区は土壁のお宅が多く、水につかって壁が崩れてしまっていました。このお宅も最終的には取り壊すことになるとおっしゃっていました。心を入れて作業させて頂きました。当日は三七度という酷暑の中、水は出るようになってしまったものの飲めない、電気が止まっ

ているので信号や自動販売機も使えない、そのような状況の中で作業をされている家主の方、ボランティアの方々には本当に大変だと感じました。

岡山、広島、愛媛の三県は特に被害が大きく、この暑さの中で、被災された方々は肉体的にも精神的にも疲労の限界で、まだまだ支援の手が必要だと思います。一方で、倉敷市内でも美観地区始め他のエリアは物流等に影響は出ているでしょうが大丈夫な地域も多いのに、観光客が激減して地域経済に打撃を受けている話も聞きました。



ハイエースは中も外も泥だらけでした。レンタカー屋さんすみませんが、この子も被災地で大活躍しました。

た。今後は観光振興やふるさと納税など違う形でも引き続きご支援が出来ればと考えております。この地域には日資連の仲間もおり、ヤードや従業員の皆様のご自宅が被災されてという話も聞いておりますので、また支援活動に伺いたいと考えております。(TKO)



リサイクル掲示板

# 重要書類のリサイクルについて

平成17年に個人情報保護法が施行されて以来、個人情報の入った書類の溶解処理の問い合わせが多くなりました。昨年五月の改正により、これまで適用されなかった小規模な企業や団体にも法が適用されることになり、そういったお問い合わせは更に増え、またシュレッダーにかけた古紙の回収も増えています。そこで、今回は重要書類のリサイクルについてお話させていただきます。

## ○書類が大量にある場合

薬局や病院関係、過去何年分の決算書類を一斉に処理したいなど、処理したい書類が大量にある場合は、パッカー車に書類を箱のまま巻き込んで製紙会社に直接運搬、投入し、溶解処理をする方法があります。箱を開けずに投入できますし、製紙会社の溶解証明書が発行されますので、機密性は十分担保されます。お立会いも出来ますし、製紙会社まで足を運ばないという方には、処理工程を撮影したDVDをお渡しすることも出来ます。箱は空けませんが、写真やレントゲンのフィルムなどが大量に混入すると製紙会社でマシントラブルの元になりますので、事前の選別をお願いしています。

当組合では、地元行政関係の処理委託も受けておりますし、組合員は病院や民間企業の溶解処理の実績もあります。詳しく知りたい方、お見積もりを希望される方は別途ご相談下さい。



パッカー車に箱のまま投入



製紙会社にて溶解処理



溶解証明書を発行

## ○書類の量が少量の場合

製紙会社での溶解には運搬に費用が掛かります。そこまでの量がない場合はどうするか？個人情報の入っている部分を塗りつぶすか、切り抜いて通常古紙として処分するか、シュレッダーにかけて頂いて古紙として再生処理をすることになります。

この場合は、製紙会社の溶解証明書は発行できませんが、組合員各社でリサイクル化証明書を発行することが出来ます。

重要書類をシュレッダーにかける場合には、いくつか注意して頂きたい点がありますので、次のページに記しておきます。



リサイクル化証明書

## ○シュレッダーにかける場合の注意点

- ① 紙以外のものは混ぜないで下さい。  
最近のシュレッダー機器はCDなども破砕できるものがありますが、古紙には絶対に混ぜないように注意して下さい。
- ② 茶封筒、色画用紙などはシュレッダーにかけないで下さい。  
シュレッダーされた古紙は、白っぽい上質古紙である『込頁』という品目で製紙会社に納入しています。製紙会社では主にティッシュやトイレットペーパーなどにリサイクルされます。白い紙が基本ですので、白くない紙や特に茶紙などは混ぜないで下さい。
- ③ 細かすぎる破砕は避けて下さい。  
機密性の保持のために、ミリカット、マイクロカット等という書類をミリ単位以下にまでカットするシュレッダー機器も出てきていますが、あまり細かすぎると紙の繊維がなくなってしまったり、製紙会社のパルパーで浮き上がってしまい、うまく溶けないため、受け入れをしてもらえない場合があります。リサイクルを考えるなら、細かすぎる破砕をする機器は避けましょう。



茶紙や色紙はNGです



細かすぎるミリカットも、処分が難しい場合があります。

※シュレッダーをかけた古紙は、回収の際にかさばるため、積み込みや運搬に余計な手間がかかります。また、処理過程でも袋から出してプレス機にかけ、プレス後にはラップを撒いてこぼれないようにするなど大変手間がかかります。特に裁断の必要のないものは裁断せず、普通に雑がみで出して下さると助かります。

## まとめ

- ① 重要書類が大量にある場合は、製紙会社での直接溶解を検討して下さい。運搬と製紙会社への手配はこちらで承りますので、お気軽にご相談下さい。
- ② シュレッダーにかけるものは個人情報や金額の入っているものなど必要な書類に絞りましょう。特に機密性の無い書類はそのまま雑がみ等で回収に出して下さい。
- ③ 紙以外のもの（CDやビニール、金具類）、白くない紙類（茶封筒や色画用紙）などは混ぜないようにしましょう。
- ④ シュレッダー機器を選ぶ場合は、細かすぎる破砕をするものは避けましょう。

以上、よろしくお願いします！

## 日資連・関資連青年部総会開催 紺野専務理事が部長を勇退

六月二日(土)千葉県千葉市「京成ホテルミラマール」にて、日資連青年部・関資連青年部総会が開催されました。三月に開催された臨時総会で、日資連青年部長に埼玉県・大河内敦史氏、関資連青年部長に神奈川県・竹井望氏が選任されており、新部長の元での新体制による事業計画・予算案と組織図が承認され、部長の引継ぎが行われました。前部長から青年部長のバッチを受け継ぐ二人の表情からは、重責を担う緊張と、新しい青年部を作り上げていく決意が見られました。



日資連青年部大河内新部長(左)と紺野前部長(右)

そして、本総会で退任することになった紺野前日資連青年部長は、「やっている自分が誇りを持てるようなカッコいい青年部にしたい」と考え全力でやってきたと語りました。東資協青年部長一期、関資連青年部長一期、日資連青年部長二期合計八年もの間、資源回

収業界の若手の先頭に立ち、全国の青年部員の掘り起こしや、ネットワークの構築、災害支援ボランティア等ここでは紹介しきれないほど、アクティブに活躍されてきました。今後は理事として、業界発展に尽力されていくことをご期待申し上げます。

また、私も日資連青年部幹事として引き続き新体制の元参加させて頂くこととなりました。先行きの見えない時代に突入している今、若い力で逆風を追い風に変え、邁進してまいる所存です。(水野K)

## 青年部主催で安全講習会を開催

六月一九日、八月二九日、いすゞ自動車首都圏株式会社東村山支店駐車場内にて、トラックの構造的特徴と安全運転について実車を用いた講習会を行いました。

普段行政回収に使用している、回収車両を使用し講習が行われ、まずは乗り降りの際の注意点、運



資源回収に使用している車両を用い、カラーコーンで死角を表示していました。

転姿勢、ミラーの調整方法から教えて頂きました。乗用車とは視点が違うので、正しく学ぶことが出来ました。

運転席からの死角やバックモニターを確認した後、今度はトラックの周りを歩いて回って運転席側を確認することで、バックアイカメラに頼りすぎないことや死角について改めて認識できました。

次に乗用車を回収車両の前に置き、車間距離を1m取った場合と3m取った場合での双方の見え方、感じ方を体感しました。回収作業員からは、普段空けている距離感だと前車に圧迫感を与えていたこと、割り込まれるからつい詰めてしまっていることなどと様々な意見が飛び出し、自身の運転姿勢を客観的に分析できました。

内輪差外輪差では、車体後方の振り幅を確認するため、回収作業員が安全だと思ふ場所にポールを置き実際にハンドルを切って当た



作業終了後にドライバーの方々に集まって頂きました。皆様お疲れ様でした。

るか試したり、前後輪から水をたらし、その差を測ったりしました。全体を通して回収作業員が実際に体験することで、発見と驚きがある素晴らしい講習会でした。

講師を引き受けてくださいました、いすゞ自動車首都圏株式会社東村山支店様に、この場を借りて厚く御礼申し上げます。(水野K)

## ISO9001、14001の認証登録に向けて

当組合では、二〇〇七年に「エコアクション21」を認証登録し、環境に配慮した運営を行ってきたが、この度、更なるレベルアップを目指しISO9001、14001を取得することになった。

まず、本年一月から、コンサルタンの指導の元、QMS、EMSの統合マニュアルを策定、本年四月から本格的に運用を開始した。五月二九日に内部監査、七月九日〜十日に一次審査、八月二三日〜二四日に二次審査を受け、本年十月頃の認証登録を目指している。当組合としては、ISOを認証登録することにより、業務の品質や環境活動をより一層向上させ、地元自治体や市民から今まで以上に信頼してもらえるよう努めていきたいと考えている。

(柿崎)



ななめ目録

宅配便の功罪

レジ袋の使用削減運動と比較して

平成二八年度、国土交通省調査の実態調査によると、全国に配られた宅配便総取扱数量が、四〇億一九〇〇万個だった。さらに毎年四〇五%増とのことで、本年度は四四億個に迫るものと思う。(宅配便取扱個数の推移図…参照)

日本国中いや世界各地から、たった一軒の自宅に、時間を指定して届く。しかも、不在による複数配達率が二割以上になると云う。手に入りにくいものや、高齢者のための配達ならいざ知らず、近所で買える食料品・飲料水・生活用品・衣料品・書籍雑誌類・文房具等々、スマホで簡単に注文できて、若者の利用度が高いシステムだ。しかし、それを搬送配達する車両・列車・航空機、各種重機・施設などを考えると、夥しいエネルギーと人件費を費やしていることになる。宅配車両だけでも、毎日全国で一二万台前後稼働している。近年、近くにある小売店は勿論、文房具屋さん・本屋さん・スーパーなど、個人が出向いて買い物をする店舗が、廃業または撤退して

しまうのも、このシステムが原因と言われている。

気になるのは、宅配便についてくる包装品である。防水内装・クル材・クッション材・段ボール箱など大量の廃棄物が付いてくる。これは、たった一度しか使われない利用者のマイバックなのだ。ここ数年の傾向として、各家庭から排出する廃プラスチックや段ボール箱ボール紙類の量が急増しているが、形状から見ても、明らかに宅配便の容器包装類と思われる。

その殆どは、自治体が多額の経費を負担して処理しているのが実状である。全国を走る宅配トラックの排ガスと、ゴミ類の排出を無視した環境破壊システムは、いつまでも許されるものではない。

一方、大多数の市民は、スーパーやコンビニで買い物をするのにマイバックを持参して、レジ袋の削減に努めている。現在我が国のレジ袋生産量は、年間三〇〇億枚、国民一人当たり約三〇〇枚弱使用されているようだ。これを、ガソリンや軽油に換算してみると、三リットル程度で、トラックなら一〇〇キロメートル走行すれば消費してしまう。つまりレジ袋の使用量と宅配便の燃料消費量を比べたら、宅配便の車両を十数日

間休ませれば、全レジ袋の使用量に匹敵することになる。

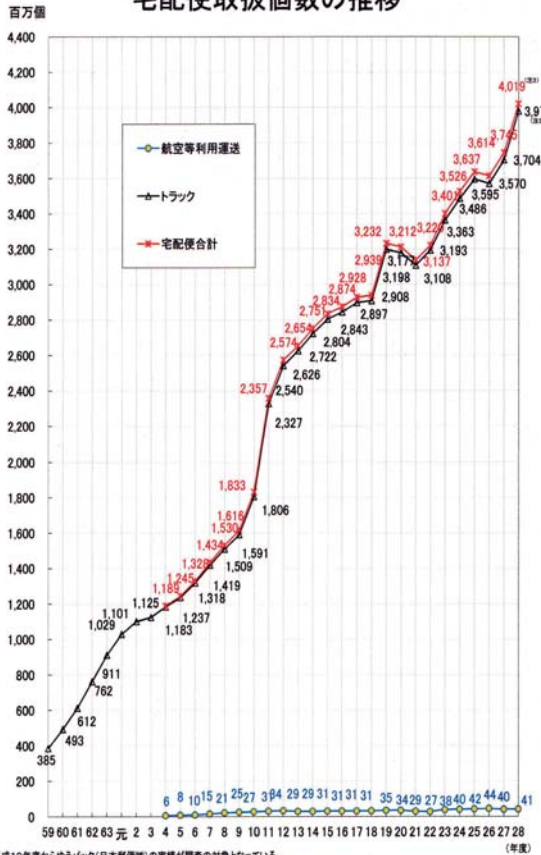
さらに、廃棄物の処理を比較してみると、地元スーパーやコンビニは、流通業者や自社物流センターまたは店内で開梱し、資源物や産業廃棄物として完全処理を義務付けられている。各家庭に配られた宅配便の包装類は、法律で各自治体が処理することになっている。

八月二〇日付の朝日新聞によると、通販大手アマゾンの昨年国内での売上総額は、一兆三四一五億円、五年前の一・五倍になっている。ところがその事業税は、外資特権などで、国内小売の一〇分の一程度しか支払われていない。さらに日本法人アマゾンジャパン

は、本部に多額のシステム使用料を払うが、これは非課税だと言う。

今後、色々な分野において、利便性のある宅配システムが拡大するものと思うが、環境問題・資源浪費・廃棄物処理などの観点から、早急に対策を講ずる必要がある。世界中で、プラスチックストローの禁止も叫ばれている時だけに、包装資材のプラの垂れ流しを放置できまい。まずは、宅配便から発生する容器包装類の処理費を、発送元と利用者に全額負担して貰う必要がある。地元スーパーや商店で買い物をして、レジ袋一枚さえも断っている大多数の消費者の努力を、無視するような不平等は許してはならない。(TKR)

宅配便取扱個数の推移



(注1)平成19年度からゆうパック(日本郵便)の実績が調査の対象となっている。  
 (注2)日本郵便については、航空専利用運送事業に係る宅配便も含めたトラック運送として集計している。  
 (注3)平成28年10月より日本郵便が取扱う「ゆうパック」を宅配便取扱個数に含めて集計しており、「ゆうパック」を扱った平成28年度の宅配便取扱個数は39億7917万個(そのうち、宅配便(トラック)取扱個数は38億6,709万個)。

### 東村山市の集団回収団体連絡会で講演してまいりました。

去る六月一六日、東村山市役所北庁舎にて、東村山市集団回収団体連絡会が開催され、吉浦理事長と共に参加し、今年も古紙、古布、アルミ缶のリサイクルについて講演を行いました。

古紙については、中国情勢を受けて、更なる分別のお願いをしつつ、雑がみ回収袋を配布して、まだまだ可燃ごみに混入している古紙の掘り起こしもお願いしました。古布については、雨の日に出された場合リサイクルが出来なくなる旨を強調し、行政回収においては秋水園で焼却処分されてしまうこと、集団回収で出されたものは、回収が出来ないため、雨の日には出さないことを徹底して頂くようお願いしました。

アルミ缶は、前号のリサイクル掲示板で、取り上げたように、プルタブを外さないでリサイクルをしてほしい旨、説明しました。今回は団体の代表者様にお話させて頂きましたが、団体の総会など皆様がお集まりになる場にお呼び頂けましたら、分別や出し方や再生方法についてに関するお話をさせて頂きますので是非お声がけ下さい。(TKO)

### 段ボールで避難所体験

去る七月八日(日)、東村山市教育委員会、青少年委員が開催している『輝け！東村山っ子育成塾』にて、講演依頼を頂き、参加してまいりました。この事業は、年齢の違う子どもたちが、グループになって奉仕活動や体験活動を行うことで、チームワークの大切さや規範・礼儀などを学びながら豊かな人間性を育むことを目的に開催しているそうで、今年はいのちの大切さを知り、ともに生きる！というテーマで活動しているとのことでした。講演では、太平洋戦争の激戦地となった硫黄島に訪問した時の話をスライドを用いて説明しました。そこで命の大切さを改めて感じ、誰かのために何か行動しようという気持ちになったこと、それがその後の東日本大震災や常総市での復興支援活動につながっていることをお話しました。お昼は、子供たちと一緒に非常食のアルファ米の炊き込みご飯とクラッカーを食べました。午後からは、当社三栄サービスマスで提供させて頂いた段ボールを使って、避難所での生活を体験してもらいました。秘密基地作りの感覚で子供たちは自由に楽しく段ボールハウス



サイズもバラバラの段ボールとガムテープだけでプライベートスペースを作成中

づくりをしていました。屋根や扉を付けてみたり、洋服掛けを作ってみたりと発想が大人とは違って感心しながら見させて頂きました。

ただ、実際の避難所生活は、こんなに快適な会議室のような環境ではないですし、知らない方々もたくさんいてプライバシーの問題なんかもある、何日続くかわからない中で、狭い中過ごすのですよという話もさせて頂きました。でも、もしかするとこの子供たちの元気な姿が、災害時に何より必要なのかもしれませんね。(TKO)

### かみそり君のお仕事体験



くクルマメツザニアニ〇ーハ  
八月五日、首にタオルを巻いて大きな水筒を入れたリュックを背負ったかみそり君。向かったのは東久留米市立第五小。クルマメツザ

ニアニ〇ーハの会場です。最初にかみそり君が覗いたのは『紙のリサイクル屋さん』です。お友達と一緒に座って待っていると、お姉さんの紙芝居が始まりました。みんなのお家から出た古紙が再生紙に生まれ変わるまでの話です。小二のかみそり君は、半分くらい理解できたかな？

『レッツ お仕事！』

お姉さんの掛け声で、紙の仕分けのお仕事体験です。新聞は新聞の箱に、段ボールは段ボールの箱にと、一生懸命分別して運ぶかみそり君。汗を拭くのも忘れちゃってます。



お姉さんの紙芝居。みんな真剣に聞いています。

そして、お楽しみ紙すきです。真剣に紙すき棒を持って挑みました。出来たハガキ大の紙に絵を描きます。かみそり君は風船の絵を描きました。

他のジョブを体験して、戻ってくる乾いて出来上がった絵ハガキをお兄さんが渡してくれました





お楽しみ！紙すき体験

牛乳パックをどろどろに溶かしただけのものが世界でたった一枚の僕が作った絵ハガキに変身したんだ。そつ言つて目をキラキラさせるかみぞう君。

『紙のリサイクル屋さん！来年も紙すきやらせてね！』

子供たちが純粋な気持ちで、真剣に、そして楽しく古紙のリサイクルに取り組んでいる姿を見て、気持ちがあほっこりしてしまい、子供目線で今回のお仕事体験を書いてみました。普段は業務としてやっている回収や選別作業ですが、このような形で未来を担う子供たちと関わるのが出来、嬉しく思います。また明日から、お仕事頑張ります！（三栄サービス 木村）

各市でリサイクルイベント！

今年も、春から夏にかけて各市でリサイクルイベントが開催されました。五月二十七日に小平市ごみ

ゼロフリーマーケットと西東京市環境フェスティバル、六月三日に東大和市環境市民の集い、六月一日に東久留米市環境フェスティバル、七月一四日に小平市リサイクルきやらばん、七月二一日にきよせの環境・川まつりにそれぞれ出展しました。

内容は例年と同様、育児用品、おもちゃ、ぬいぐるみ、かばんなどの革製品、食器類などの小物雑貨の無料回収、古紙の分別リサイクルゲームと分別指導を行いました。暑い日が多かったのですが、多くの市民の皆様にご来場いただきました。今回、きよせの環境・川まつりに初参加した(株)三栄サービスの廣住さんより、以下報告と感想を書いて頂いたので掲載します。

今回、こうしたイベントに初めて参加させて頂き、とても充実した一日を過ごせました。

古紙の分別リサイクルゲームでは、お線香や洗剤の臭いの付着した箱や、金紙・銀紙などの禁忌品もリサイクル出来ると思っている方が多かったです。たくさんの方に参加してもらったことにより、『古紙は正しい分別によって資源として活かされる』ということを知り周知してもらえらるのだと思います

た。小物雑貨類の無料回収では、暑いや中重い荷物を抱えて持参してくる人が多く、リサイクル意識の高さを感じました。イベントを通して、多くの市民の皆様と交流出来、色々な経験をさせてもらい大変勉強になりました。次回も是非参加したいです。(三栄サービス 廣住)



きよせの環境・川まつりにて

●●秋のリサイクルイベント案内●●

秋も各市でリサイクルイベントが開催されます。詳細は各市ホームページでご確認下さい。

- ①9月8日(土) こだいら環境フェスティバル  
10時～14時半 @中央公園他
- ②10月21日(日)東村山市リサイクルフェア  
10時～13時 @秋水園リサイクルセンター
- ③11月 小平市リサイクルきやらばん  
日時未定、@東部公園駐車場を予定

**禁忌品警報！製紙原料にならないストーンペーパーに「注意」**  
水を使わず、石の繊維などから作ることが出来、紙よりも丈夫で水に強いとして売り出されている『ストーンペーパー』をご存知でしょうか？水に強いという特徴を生かし、名刺やパンフレット、メニュー等での活用が広がっているようです。

昨年八月には、石灰石から作られた『ストーンペーパー』が東京都のトライアル発注制度の認定を受け話題になっていましたが、原料が木質パルプではないので、もちろん製紙原料としてはリサイクルが出来ず、我々業界でも問題視をしております。きちんと分別してこの『ストーンペーパー』だけを集めれば再生できるのとありますが、見た目では紙との分別が付きづらく、古紙への混入が懸念されています。表面の触った感じがつるつるしているもの、手で破けないものがありましたら、『ストーンペーパー』の可能性がありますが、絶対に古紙に混ぜないで下さい。

また、利便性だけではなく、その後のリサイクルのしやすさを考えて、素材を選んで頂くことも大切です。(TKO)





## 西日本豪雨災害に際し、

## 日本赤十字社を通じて

## 義援金を送付しました

七月に起きた西日本豪雨災害において亡くなられた方への心から哀悼の意を表すと共に、被害に遭われた皆様に心からお見舞い申し上げます。

当組合では、岡山、広島、愛媛を始め、西日本各地に広がる被災地の皆様が、この度の被害からいち早く復旧、復興して頂けるように祈念し、災害のニュースを受けてすぐに全組合員各社、組合従業員から集めた義援金三〇万円を日本赤十字社から送付させて頂きました。

また、我々の業界の上部団体である東京都資源回収事業協同組合の義援金募集にも東多摩支部として協力をさせて頂きました。また、本誌九ページにも掲載しておりますが、青年部が早速岡山県真備町の災害支援ボランティア活動にも参加しております。

日本全国各地で大きな災害が多発しており、この地域でもいつ大きな災害に見舞われるかわかりません。組合では各市と防災協定を締結しており、有事の際には地域の安全と災害対策のために尽力したいと考えております。

## ◆行事・行動◆

## 【平成三〇年五月】

- 一日：(公社)東リ協会・理事会
- 七日：古紙持去り問題意見交換会
- 八日：小平RC責任者会議
- 九日：東大和市環境市民の集い実行委
- ：財務委員会
- 十日：ジャパンテック宇都宮工場見学
- 十一日：GPS追跡調査
- ：会計監査
- ：定例理事会
- 十五日：東久留米市環境フェスティバル実行委
- 十六日：東村山市リサイクルフェア実行委
- ：福利厚生委員会
- ：業務委員会
- 十八日：小平RC責任者会議
- 十九日：東資協総会
- 二十二日：官公需共同受注検査
- 二十三日：西東京市廃棄物減量審
- 二六日：第二五回通常総会
- 二七日：西東京市環境フェスティバル
- ：小平市ごみゼロフリーマーケット
- 二八日：清瀬市廃棄物減量審
- ：(公社)東リ協会・総会
- 二九日：ISO内部監査
- 三〇日：古紙再生促進センター理事会
- ：多摩リサイクル事業協同組合総会
- ：東村山市業者連絡会議

## 【六月】

- 二日：日・関資連青年部総会
- 三日：東大和市環境市民の集い
- 四日：GPS追跡調査

八日：小平RC責任者会議

- 十日：東久留米市環境フェスティバル
- 十一日：定例理事会
- 十六日：東村山市集団回収団体連絡会
- 十八日：西東京市業者会議
- 十九日：GPS追跡調査
- ：回収車両安全運転講習会
- 二五日：財務委員会
- 二六日：GPS追跡調査ヒアリング
- 二八日：小平市施設見学

## 【七月】

- 六日：小平RC責任者会議
- ：古紙持去り問題意見交換会
- 八日：東村山つ子育成塾
- 九日：ISO一次審査(十日)
- 十一日：定例理事会
- 十三日：リサイクルセンター暑気払い
- 十四日：小平市リサイクルきやらばん
- ：日資連全国大会熊本大会
- 十八日：東村山市リサイクルフェア実行委
- 十九日：団体向け生産性向上普及啓発セミナー
- 二一日：清瀬市環境・川まつり
- 二五日：東村山市業者連絡会議
- 二九日：組合員家族慰安会

## 【八月】

- 三日：小平RC責任者会議
- 五日：クルメツザニア二〇一八
- 六日：青年部会議
- 十日：定例理事会
- 十七日：広報委員会
- 二三日：ISO二次審査(二四日)
- 二九日：回収車両安全運転講習会

## 編集後記

これを書いてる時はうだるような暑い日が続いておりますが、皆様のお手元に本誌が届く頃には涼しくなっているでしょうか？

また、大阪での地震、西日本各地での豪雨被害と大きな災害が続きました。被害に遭われた皆様に心よりお見舞い申し上げます。

さて、今回直言拝聴にご寄稿頂きました公益財団法人廃棄物・3R研究財団調査部 藤波博様、ありがとうございます。日頃、日資連の研修会等でお話をお聞きする機会も多いのですが、改めて勉強させて頂きました。

欧州型のサーキュラーエコノミーの考えで、回収効率を向上させるための混合収集は今後の検討課題かもしれません。ですが、このところの海外情勢を考えると、改めて大事なものはしっかりと手にかけて『分別』することではないかと思えます。特に古紙は、他の資源物と混ぜて回収するわけにはいきません。

私たち回収業者としても、今後のエネルギーの高騰や人手不足を考えると、如何に回収効率を高めていくか引き続き研究してまいります。 (TKO)